

年頭のごあいさつ

滝川市立病院院長 松橋 浩 伸



令和4年 1月 14日
発行：滝川市立病院
滝川市大町2-2-34
(電話) 0125-22-4311
(編集) 広報委員会



新年あけましておめでとうございます。皆様よい年をお迎えのことと存じます。日頃から、滝川市立病院に對しご支援ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて昨年も一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に明け暮れた一年でした。当地域でも2020年の春に発症者が出て以来、断続的に流行がみられています。

当院は新型コロナウイルス感染症協力医療機関（本年1月から重点医療機関）としての役割を担っております。

正面玄関でのサーモグラフィを用いた発熱患者さんの対応や簡易診察室（ブレハブ）における発熱外来

の設置、濃厚接触者の方のドライブスルーPCR検査も行っており、保健所のご指示の下、さまざまな努力をしております。

また、市のワクチン本部や滝川市医師会などと協力し、休日の集団接種を含めて、ワクチン接種業務も担当させていただきました。幸い市民の皆様のご理解・ご協力を得て、昨年末までに80%以上の高い接種率となりました。

当院は、感染症対策用に作られておらず、限られた病院設備の中で、当初は試行錯誤しながら改善を図ってきました。病棟内での感染を防ぐ意味合いから、入院患者さんに対する面会制限をさせていただいており、ご不便をおかけしていると



思いますがどうかご容赦ください。また、昨年から末にかけて、一旦は流行が収まったようにも見えていたが、この原稿を書いている段階（1月8日）で新たな変異株（オミクロン株）が急速に広まりつつあることが報じられております。近隣の町でクラスターが発生したとのこと。感染の爆発（第6波）が迫っているのかもしれない、対応に向け気を引き締めております。

お手軽健診を受けませんか

滝川市立病院では、一般の健康診断にない項目を検査したいという方や産休・育休中などで定期的な健康診断を受ける機会のない方、健康診断で経過観察となった項目のその後が気になる方など、誰もが気軽に手軽な料金で受けることができる『お手軽健診』を実施しています。気になる検査項目を1つから、または組み合わせで選べます。

受付から終了までが最短 20分でできますので受診や付き添いのついでに『お手軽健診』を受けてみませんか。健診結果は約1週間後に直接ご自宅へお送りします。

検査項目

- 血液検査 血糖値・脂質・肝機能・痛風・貧血・甲状腺・前立腺・ウイルス性肝炎・すい疾患・腎機能検査
- 尿検査 尿一般・ピロリ菌検査
- その他 動脈硬化検査・骨密度検査・内臓脂肪検査
- 健診料 1検査550円(税込)※医師の診察・診断はありません。健診数値基準表を基に健康状態をご確認ください。

今後も地域の皆さまの健康維持・管理にご活用いただきたいと考えておりますので、お気軽に受診ください。

滝川市立病院 お手軽健診検査メニュー

	検査名	検査項目	料金表	検査種別
1	血糖値検査	血糖、HbA1c	550円	血液
2	脂質検査	総コレステロール、HDL、LDL、中性脂肪	550円	血液
3	肝機能検査	AST、ALT、ALP、γ-GT	550円	血液
4	3検査セット	血糖値・脂質・肝機能検査	1,320円	血液
5	痛風検査	尿酸	550円	血液
6	貧血検査	白血球数、赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、血小板数、血清鉄	550円	血液
7	甲状腺検査	フリーT3、フリーT4、TSH	2,200円	血液
8	前立腺検査	前立腺特異抗原	1,650円	血液
9	腎機能検査	尿素窒素・クレアチニン	550円	血液

	検査名	検査項目	料金表	検査種別
10	ウイルス性肝炎検査	HBs抗原、HBs抗体、HCV抗体	2,200円	血液
11	すい疾患等検査	アミラーゼ	550円	血液
12	尿一般検査	蛋白・グルコース・潜血	550円	尿
13	ピロリ菌検査	尿中抗体	1,100円	尿
14	動脈硬化検査	ABI	1,100円	生体
15	骨密度測定	骨密度測定	1,650円	放射線
16	内臓脂肪測定	内臓脂肪測定	2,750円	CT

【受付時間】 平日10:00～16:00
【お問合せ・ご予約】 医事課医事係 ☎22-4311 内線1168

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止させていただく場合がありますので、ご了承ください。

もは、新型コロナウイルスの影響を最小限にとどめて、遺漏のないように努めたいと思います。

コロナウイルスの出現は、我々の生活を大きく変えてしまいました。制限の多い日々が続くことになろうかと存じますが、皆様にとりまして、今年が少しでもよい年になりますようにお祈り申し上げます。



臨床検査技師の毎日

～病院には医師、看護師の他にもさまざまな専門職員が働いています。今回は、臨床検査技師の毎日について紹介していきます～

8：00～ 1日が始まります

検査受付の17番窓口が開くと同時に、1日の業務が始まります。
来院者の多い午前中はどの検査も件数が多いので、スピーディな動きが求められます。

【検査の種類】

◆生理検査

心電図・肺機能・聴力検査・動脈硬化検査などを行います。直接患者様に接する機会が多いので、特に感染対策に気を付けています。

◆生化学・血液・免疫検査

健診・外来・病棟から次々と提出される血液の検査を行います。赤血球・白血球の数を調べたり、電解質・酵素・脂質・ホルモンなどの濃度を測定し、体調の変化や臓器の異常を把握します。

◆輸血検査

出血や貧血のある患者様に安全で適正な輸血ができるように、各種検査や製剤の管理を行います。

◆一般検査

主に尿・便検査を行います。尿の性状は、腎臓や尿の通りの状態の指標となります。

◆細菌検査

提出された検体から感染症の原因となる細菌や真菌を見つけ出すために、培養・同定・顕微鏡検査などを行います。各種感染症のPCR検査も実施しています。

◆病理・細胞診検査

患者様のお身体から採取された臓器・組織・細胞を顕微鏡検査用の標本にして、がんの有無などを調べます。

12：30～ お昼休み

診察前採血は続くため、お昼休みも交代で検査をストップさせないようにしています。

13：15～ 午後の業務開始

検査の件数は午前中より落ち着きますが、その分複雑で時間のかかる検査が依頼されることもあります。

◆機器のメンテナンス

正しい検査データを出すために、毎日欠かせない作業です。
検査状況を見ながら、機器の洗浄や試薬の補充を行います。

17：00～翌朝 当番業務

夜間・休日は、交代制で1名の技師が緊急検査のすべてを行います。日中とは異なる緊張感もありますが、迅速かつ正確な検査結果を提供できるよう努めています。



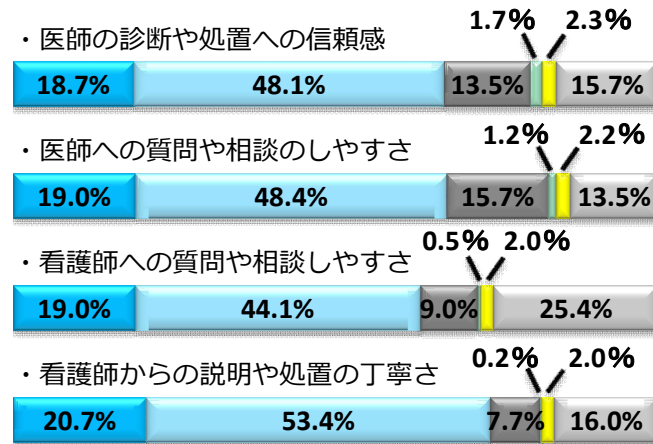
令和3年度『患者満足度調査』の結果について

外来編 388人

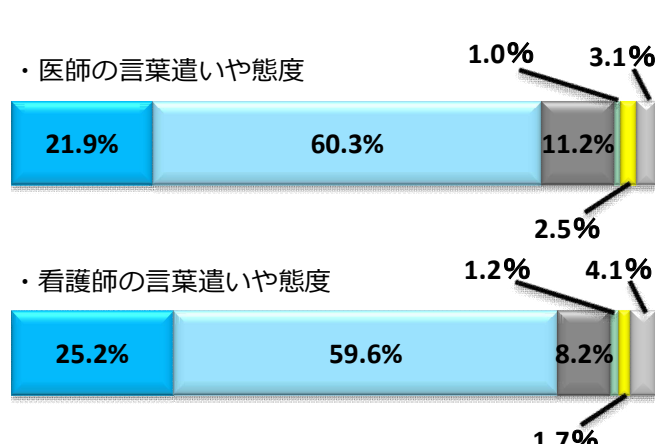
《10月4日～10月15日実施》

当院の患者満足度調査は、医師を委員長として院内の各部門の代表が集まり組織される「患者サービスマニエール委員会」により、調査の具体的な方法や設問の内容などについて検討を重ねた上で、毎年実施しています。

●診療面について



●接遇面について



■とても良い ■良い ■どちらともいえない ■悪い ■とても悪い ■わからない・無回答

入院編 116人

《10月1日～10月31日実施》

入院編の調査方法は、退院または転棟（入院している病棟を移ること）が決定した方140人（無作為抽出）にアンケート用紙をお配りして回答いただくという方法で、116人の方から回答をいただき、回収率は82.8%となりました。

年齢構成を見ると8割以上を60歳代以上の方が占め、次いで50歳代が7%、40歳代が3%と続きます。性別では、女性と男性の比率が概ね半々、お住まいについては、市内と市外の比率が概ね6対4という割合でした。

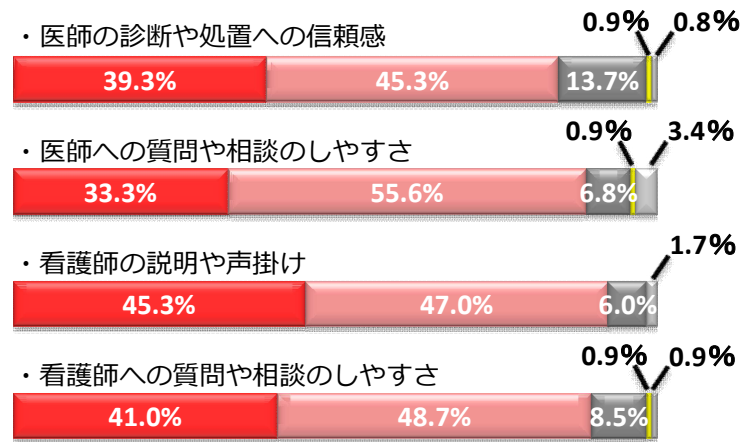
満足度については、外来受診時よりも入院時の方が高く、接遇面・診療面共に、8割以上の方から良い評価をいただいております。

当院全体については、昨年と比べ、高評価の方が微増しており、全体の7割以上の方から良い評価をいただきました。

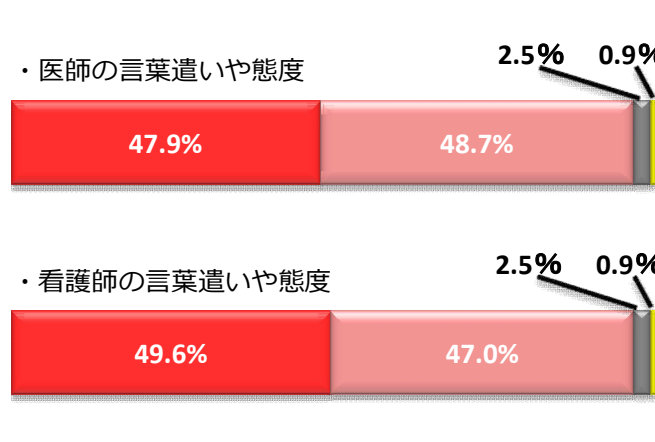
今回の『患者満足度調査』でいただいた意見をしっかりと受け止め、今後の改善につなげていきたいと思っております。

調査にご協力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

●診療面について



●接遇面について



■とても良い ■良い ■どちらともいえない ■悪い ■とても悪い ■わからない・無回答